

五虎

2026年4月発行

発行 東京グラフィックサービス工業会 三多摩支部
〒181-0012 東京都三鷹市上連雀1-12-17 (株)文伸 内
Tel.0422-60-2211
発行者 川井伸夫



Contents

ジャグラー作品展／支部研修会／支部見学会
支部忘年会／賀詞交歓会／コラム／支部セミナー／訃報

【卷頭言】

三多摩支部 支部長 川井 伸夫 (株式会社 文伸)

つ、良い取り組みを“記録として残す”ことにも力を入れます。そして三多摩支部は、地域に根ざした持続可能な価値づくりを目指します。

三多摩の地で培われる技術と創造力を武器に、未来への一步を着実に踏み出していきましょう！

引き続きよろしく願ひいたします。



三多摩支部新入会員のご紹介

(順不同・敬称略)

**えかきやたま
けやき出版
美光印刷
フジコデザイン
フタバマーク HD**



えかきやたま 原 恵美子
〒187-0002 東京都小平市花小金井7-17-12
TEL/FAX: 042-449-3341
E-mail: e_tama@fa2.so-net.ne.jp
<https://www.ekakiyatama.com>

はじめまして。この度入会いたしましたイラストレーターのえかきやたま・原恵美子と申します。

印刷会社勤務(旧・細川活版所、現・光村印刷株式会社)を経てフリーランスのイラストレーターとして独立したのが30余年前、以来、広告や出版などの場を中心に活動してまいりました。印刷会社時代、DTPの立ち上げに携わった関係でDTP 図版の仕事は現在も承っております。

長年、教科書・学習参考書関連や公官庁関連をフィールドとして活動しておりましたので「明るく・わかりやすく・親しみやすい」絵柄での仕事が多いのですが、リアルなタッチやイマドキの漫画アニメ風イラストなども得意としております。また、似顔絵イラストも得意分野で、個人オーダーだけでなく企業の社内報や名刺等にご活用いただいております。

趣味で追いかけていたモータースポーツ(モトクロス)のレポーターもいつの間にか仕事となりインタビュアーやライターの仕事も手がけるようになりました。昨年、縁あってお目にかかった緑陽社の武川様のお誘いでジャグラー・東グラに入会させていただき運びとなりました。

何卒よろしくお引き回しのほどお願いいたします。



株式会社けやき出版 小崎奈央子
〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-4-15 3F
TEL: 042-525-9909 FAX: 042-524-7736
E-mail: ozaki@keyaki-s.co.jp
<https://keyaki-s.co.jp>

立川市で創業し、今年で46年目になります。立川市内にある企業の経営者の方々が、多摩地域に特化して情報発信を行うために出資して設立したのが弊社です。

私は編集者の仕事をするために従業員として入社し、働いて9年目である37歳の時に事業承継をいたしました。現在は出版事業だけではなくWEBサイトの制作やSNSの運営などの広告事業、拠点の立ち上げや運営などを行う拠点事業の3つを連携させながら経営を行っています。

本が好きで編集者になり、会社が好きで代表を継ぎ、多摩地域が好きで事業を行っています。本が売れない時代だからこそ、新たな本や紙や印刷の価値を再設定し、この先も必要なものとして残していく方法を模索したいと考えております。そのために必要なことは、守るだけではなく果敢に攻めること、ダメでも諦めないこと、チャレンジを続けることだと思っています。

まず今年は、新たに地域の交流拠点としてのチャレンジショップの運営を始める予定です。地域の皆さま方と手を取り合い、連携しながら特徴を活かして多角的な事業を展開したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



美光印刷株式会社 加羽澤 綾 専務取締役
プラス・トゥイル株式会社 代表取締役
本社: 〒198-0024 東京都青梅市新町9-2183-5
TEL: 0428-30-5433 FAX: 0428-31-2680
立川支社: 〒190-0012 東京都立川市曙町1-21-7
TEL: 042-595-9204 FAX: 042-595-9504
E-mail: bikoh306@css-office.com
<https://bikoh.tokyo/>

美光印刷株式会社は東京都青梅市に本社を構える印刷会社です。1998年の設立以来、地域企業や団体の情報発信を支える印刷サービスを提供してまいりました。現在は青梅本社の製造機能に加え、立川支社を拠点にデザインや発信機能の強化にも取り組んでいます。

次世代への事業承継を見据え、2025年より「記憶をつなぐ技術」という理念を掲げました。印刷は単なる製造ではなく、人や企業の想い、地域の歴史を未来へ残す文化的な仕事であると考えています。近年は「紙に魔法を。印刷に物語を。」をテーマに、印刷の価値を改めて見つめ直しています。

当社ではB1サイズ5色 UV オフセット印刷機をはじめ、オンデマンド印刷機5台、UV インクジェットプリンター、大判プリンターなどを保有し、印刷から加工、アッセンブリ作業までを内製化しています。今後はプロダクトデザインやブランディングデザイン、コンテンツ分野への展開も進め、企業や地域の魅力を形にする新しい価値づくりに挑戦してまいります。



株式会社フジコデザイン サトウ藤子
〒167-0054 東京都杉並区松庵1-17-8
イリゼ松庵101
TEL: 080-3602-8660
E-mail: fujico@fujicodesign.com
<https://www.fujicodesign.com>

1989年東京都三鷹市生まれ。都立八王子工業高校応用デザイン科(現: 桑志高校)を卒業。

その後、武蔵野美術大学芸術文化学科を卒業後にアートシーンに関わりながら活動。

2014年にデザイナーを志し、2015年都内デザイン会社へ入社。

2018年に株式会社フジコデザインを設立。

グラフィックデザイナー／アートディレクターとして独立。

現在、KADOKAWA グループのダウンゴ、日経映像、日本経済広告社(ADEX)、東大発スタートアップなど、多様なクライアントの制作に携わっています。



フタバマークHD株式会社 柳原 英治
〒182-0016 東京都調布市佐須町1-6-4
TEL: 042-481-9181 FAX: 042-485-4866
E-mail: yanagihara@futabamark.co.jp
<https://www.futabamark.co.jp/>

フタバマーク株式会社(東京都調布市)は、1981年の創業以来、シーラ・ラベルを中心とした特殊印刷を手掛けてきました。

凸版印刷、オフセット印刷、オンデマンド印刷、シルク印刷など多様な技術を活かし、紙やフィルム系まで幅広い素材に対応できる点が強みです。食品・化粧品・電機関連など多様な業界から信頼を得ており、安定した事業基盤を築いています。

2000年に入社し、技術力と柔軟な対応力を牽引してまいりました。さらに2024年5月21日設立の親会社「フタバマーク HD 株式会社」の代表取締役社長に就任し、グループ全体の成長戦略を担い、さらなる発展を目指す所存です。

2024年度 三多摩支部総会開催 【見学会：14:40・総会：16:00・懇親会：17:30】

2025年5月15日（木）オープンイノベーションフィールド国分寺（国分寺市）において、東京グラフィックサービス工業会 三多摩支部定期総会が開催されました。

今回は総会前に「3D プリンター見学会」も企画し、施設内の最新の金属プリンターなどを見学。職員の方に、その仕組みや、使用する素材、活用方法としてどのような需要があるかなど、製品サンプルを手に取りながら詳しく解説いただきました。ラボの入り口前には、色や形状の異なる、様々な製品サンプルが展示されていました。

総会においては、私、川井が議事進行を行い、冒頭に当日時点の会員総数14社、出席7社、委任状提出4社で総出席者数が過半数を超え、総会の成立が宣言されました。

議案では、2024年度事業報告、会計報告、監査報告が審議され全会一致で承認され、その後、2025年度事業計画（案）、

予算（案）においても審議、全会一致で承認されました。

当日は見学会・総会・懇親会と、長丁場の日でしたが、すべてのプログラムを無事に、そして何より楽しく終えることができ、支部長としてはホッと胸を撫でおろしております。また、多くの学びと笑顔があふれる、有意義な時間となりました。支部会員、賛助会員の皆さまの温かいご支援とご協力が、私たち三多摩支部の活動を大きく支えております。今後も、皆さまにとって価値ある交流と情報発信の場となるよう、精一杯努めてまいります。



開会の挨拶
川井支部長



3D プリンターのサンプル



三多摩支部総会 懇親会

ジャグラ文化典東京大会 公式デザイン公募 「パンフレット表紙」&「T シャツ」ダブル採択は高島亮三氏（株文伸）

2025ジャグラ文化典東京大会の公式デザイン公募において、株文伸（三多摩）のデザイン担当・高島亮三さんの提案が、大会公式パンフレット表紙に最優秀採択されました。

同じく高島さんのデザインが、大会公式Tシャツにも採用され、当日はスタッフ・参加者の一体感を演出しました。

表彰式は3月11日（火）、浅草ビューホテルのロビーにて執り行われ、同社・川井伸夫社長が出席、原田大輔東京大会運営委員長より表彰状と賞金5万円が贈呈されました。

高島さんからは、「『印刷』

のキーワードをどう表現するかで苦慮した。“トンボ”や“カラーチャート”“赤入れ”といった要素をメインビジュアルと対等に扱うことで、『印刷』の過程やそれに関わる人々の存在感を示せたかと思う」とコメント。

川井社長からも「『印刷復活』という強いメッセージに触れ、東京大会に向けて何か行動したいという気持ちが芽生えた」と、高島さんへのお祝いの言葉とともに大会への意気込みを語りました。



原田運営委員長（中央）から表彰を受ける川井社長（右）



採択された「パンフレット」と「T シャツ」

東京グラフィックサービス工業会 2024年度 定時総会開催

2025年5月28日（水） 日本教育会館

東京グラフィックサービス工業会 5月28日現在の正会員数は250名。出席会員数42名、152名の委任状提出があり、合計194名で本総会は成立。

冒頭の原田大輔会長は「東京グラフィックスは横のつながりを大事にしている。会員数の減少がみられる中でも、様々な事業が活発に行われており、会員数の回復も十分に望める。今年度どう躍進するか期待していただきたい」と述べた。

た。

その後、議長が選出され、総会議事に移った。

第1号議案 2024年度事業報告、第2号議案 2024年度決算報告、第3号議案 2024年度監査報告

第4号議案 2025年度事業計画報告、第5号議案 2025年度予算案報告

すべての総会議案が賛成過半数で承認され、議長が議事の終了を宣言した。

ジャグラ東京大会 創立70周年記念 第67回ジャグラ文化典東京大会 全国から440名が集結

第67回ジャグラ文化典東京大会が6月21日（土）、浅草ビューホテルで開催され、全国ジャグラ会員、ご来賓、賛助会員、関係者ら440名が集結。

ジャグラ定時総会

13時から第60回ジャグラ定時総会が開催され、岡本泰ジャグラ会長が議長を務め、いずれの議案も原案通り承認されました。終了時には、大会スローガン「価格競争から価値共創へ～今こそグラフィックサービス業へ転換しよう」を高唱し閉会となりました。

記念式典：15時から第67回ジャグラ文化典式典が開催され、主催者あいさつ、来賓祝辞に続き、各種表彰式が執り行われました。

その後、大会旗が次期開催地である大阪へ手渡され「ジャ



大会旗が東京～大阪へ

グラ文化典大阪大会」へと引き継がれました。

大懇親会：18時からは大懇親会が開催され、404名の方が出席し盛大に行われました。宴席の終盤には大阪大会のPR並びに全国のジャグリストとの再会を呼びかけました。

令和6年度 ジャグラ作品展 支部会員(株)文伸さんが2作品入賞！

令和6年度ジャグラ作品展の最終審査が2025年4月23日（水）ジャグラ本部で行われ、三多摩支部会員の(株)文伸さんが2作品で入賞しました。

令和6年1月1日～12月31日までに印刷（完成）された作品を3月31日まで募集し、全国623作品の中から第一次・二次審査、最終審査を通過して選出された入賞作品です。なお、6月21日（土）に開催されたジャグラ東京大会では、作品展への協力が認められ、三多摩支部も表彰されました。

宣伝部門：全国中小企業団体中央会会長賞「BOTEJYU GROUP 1946会社案内 日本語版・英語版」

業務用印刷部門：佳作「2025年 株式会社文伸年賀状」

作品展のコメント

このたびは、宣伝部門での受賞ならびに業務用印刷部門での入賞という評価をいただき、大変光栄です。

日頃よりご支援くださるお客様、制作に関わった皆さま、そして現場で品質を積み上げてくれた社員一人ひとりに心より感謝申し上げます。

今回の結果を励みに、印刷の価値を「伝わる形」に磨き上げ、地域と業界に貢献できる仕事を積み重ねてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



ジャグラ東京大会での作品展示



BOTEJYU GROUP 1946会社案内 日本語版



2025年 株式会社文伸年賀状

三多摩支部 研修会レポート 「生成 AIの最新動向を学び、交流を深める」

【株文伸見学会：15：00・セミナー：16：00・納涼懇親会：18：20】

東京グラフィックサービス工業会 三多摩支部では、8月21日（水）に研修会を開催し、会員・賛助会員を中心に30名超が参加しました。

当日は株文伸（三鷹市）の工場見学に続き、研修会、そして納涼会と盛りだくさんの内容で進行。

研修会では「画像生成 AI Adobe Fireflyで変わるデザインの世界」をテーマに、富士フイルムビジネスイノベーション株の大森茂樹氏にご講演いただきました。

参加者からは「業務に活かしたい」「未来を考えるヒントになった」との声が寄せられました。

納涼会では全員が発言できる時間を設け、新入会員のス

ピーチは堂々としており、支部の未来を担う頼もしさを感じ場となりました。今回の研修会は、「学び」と「交流」を同時に深められる貴重な機会となりました。

今後も三多摩支部では、会員の皆さまにとって有意義な場づくりを続けてまいります。



画像生成AIセミナーチラシ



ドローンによる空撮



セミナー参加者の集合写真



懇親会の様子

三多摩支部役員会＋美光印刷（立川支社）

9月17日（水）、新入会員である美光印刷様のご厚意により、支部役員会と見学会を開催しました。当日は支部会員・賛助会員あわせて10名が参加。広々とした立川支社の施設を見学し、場所貸出の活用事例や、多摩木材の取り扱いを含む木工事業など、印刷にとどまらない多彩な取り組みを学ぶ機会となりました。

見学では、木升への加工機の実演も披露され、参加者一同が興味深く見入っていました。

その後の懇親会でも新たなプロジェクトにつながる話題が多く交わされ、活発な意見交換の場となりました。美光印刷様のご協力に感謝するとともに、参加者にとって有意義な交流のひとつとなりました。



美光印刷 見学会

支部役員会 + 支部会

【支部役員会：17：00・支部会：18：00】

11月14日（金）、今年度新入会員となった、けやき出版様（立川市）のご厚意により、同社会議室をお借りして開催されました。

役員会の議題内容は、役員選考委員会の報告、公益対応の進捗、来期の方針などが話し合われました。

役員会終了後の支部会では、支部忘年会の日程、参加者各社のPR タイム、また、オブザーバーで参加された、えかきやたま：原恵美子さん、オフィスコーワ：坂本浩之さん（ご夫妻でデザイナー）のご紹介がありました。お二方は、翌月開催の三多摩支部忘年会へもご出席をいただき、本年2月に

「えかきやたま」さんを新入会員としてお迎えすることが出来ました。



けやき出版さんの社内を見学

2025年 東グラ三多摩支部忘年会

日 時：2025年12月12日（金）18:00～20:00

会 場：チャコールダイニング るもん（立川市）

司会進行：三英 GA 戸辺さん

東グラ三多摩支部では、12月12日（金）に立川市内にて忘年会を開催いたしました。

当日は冬らしい厳しい寒さとなりましたが、開始とともに会場は笑顔と活気に満ち、三多摩支部らしい温かい雰囲気が広がりました。

まずは支部長挨拶として、今年一年で4社の新しい仲間が加わったことや、本会を通じて交流の幅が広がっている喜びを共有。続いて、新入会員やオブザーバー参加者の紹介が行われ、初対面同士の名刺交換や自然な会話があちこちで生まれました。若い世代の参加もあり、支部全体に新しい風が入り始めていることを実感できる場となりました。

歓談の時間には、仕事の相談や印刷・製本に関する技術的な話題、さらには地域での取り組みまで、幅広いテーマでの情報交換が活発に行われました。特に、新入会員同士での協業案件が早速受注につながったという報告には、多くの参加

者から温かい拍手が送られ、“競争ではなく共創”という支部の姿勢が形になりつつあることを象徴する場面となりました。

また、賛助会員のPR タイム、景品抽選会なども大いに盛り上がり、終始にぎやかで笑顔あふれる時間となりました。

会の最後には、武川副会長より「来年も支部としての学びと交流を大切にし、皆で新しい価値づくりに挑戦していきたい」との言葉で締めくくられ、三多摩支部の結束を改めて感じる忘年会となりました。



司会の戸辺博さん



三多摩支部忘年会 集合写真

東グラ「2026年 新春賀詞交歓会」新春の宴に195名が集う

1月19日（月）東天紅上野本店において、2026年新春賀詞交歓会が開催されました。参加者は195名。

平原真敬総務委員長の司会で開会。主催者あいさつの原田大輔会長は「近年の印刷産業は明るい展望とは言えないが、「ジャグラ DX」の普及・促進、「生成 AI 分野」の急伸。ジャグラ『単品損益の教科書』の発刊などに触れ、午年の今年は会員企業に有益な事業への取り組みにより、力強く躍進できるよう努めたい」と抱負を語りました。

続いて小池百合子東京都知事からの祝電ビデオメッセージが披露され、来賓の日本印刷産業連合会・高島淳一常務理事より祝辞をいただきました。

また、2025年の新入会員（2025年1～12月）がステージ上で紹介され、新しい仲間への歓迎の拍手が贈られました。

乾杯の発声の岡本泰ジャグラ会長は「ジャグラ全体の会員拡大、『価値共創』を実現していくための施策、価格競争のみではない、新たな価値を印刷産業全体で作っていかうと考えている」とあいさつを述べ、力強く乾杯を行いました。

暫し歓談の後、大抽選会が催され、総務委員の皆さんが会場を盛り上げました。

また、会員有志の皆さんから、昨年還暦を迎えた鈴木孝尚

事務局長に対し、黒有田の筒片口とぐい呑みのセットがプレゼントされ、日々の取り組みに関する感謝のメッセージが送られました。

会も終盤となり宴もたけなわになったところで、中村盟副会長、武川優副会長、鈴木将人副会長、谷口美保副会長がステージに立ち、中締めのあいさつの後、三本締めを行い盛会のうちに終了しました。



新入会員の皆さん 左から3人目：柳原英治さん
4人目：サトウ藤子さん



島へ、ちょっと。

株式会社 エーカーズ 小川 英樹

東京諸島の各島へ運航している船舶会社様や伊豆大島や八丈島の公共機関や企業様より、宣伝物（印刷等）や椿まつりのライティング施工、企業の周年式典運営、防災・標識看板など、総合的なサポートをしている当社は頻繁に各島へ訪れますが、皆様は東京諸島に行かれたことはありますか。

東京諸島は伊豆大島から小笠原の母島までの11の島々「TOKYO 11 islands」が存在し、各島それぞれが織りなす景観、豊かな自然、文化があり、都心では味わえない魅力があります。

都心から一番近い伊豆大島は、高速ジェット船や飛行機で行くことができ、日本で唯一の砂漠や2～3月には椿花などが出迎えてくれて、仕事で訪れてもリフレッシュできる島です。



ジェット船結



地層切断面 通称バームクーヘン

地域から生まれる グラフィックサービスの未来 —— 共創で広がる三多摩の可能性 ——



当日の様子 (YouTube)

東京グラフィックサービス工業会三多摩支部は、3月24日(火)18:00、美光印刷(株)立川支社において、標記セミナーを開催しました。会場の設営から進行役まで、美光印刷の加羽澤綾氏に多大なご協力をいただきました、誌面をお借りして感謝申し上げます。

冒頭のあいさつで川井伸夫支部長は、「私たちの印刷業界は70年の歴史があり、『グラフィックサービス』と呼ばれて30余年が経過していますが、本日は「印刷」という枠を超え、グラフィックサービス業としての価値を共有し、三多摩地域を盛り上げていきたいと」述べました。

講師には支部会員でもある、けやき出版：小崎奈央子氏とフジコデザイン：サトウ藤子氏を迎え、「地域とクリエイティブの可能性」「三多摩エリアから生まれる新しい仕事」「共創による価値づくり」をメインテーマにお話しいただきました。

【けやき出版 立川市(創業46年)】小崎氏からは、

多摩エリアの情報発信を続ける地域出版社として、情報誌『たまら・び(現在終刊)』を21年間継続発刊後、2020年新たに『BALL多摩=(球)』で多摩地域の人、仕事、トピックを紹介する情報誌を刊行しています。

地域には、まだまだ潜在的な文化があり、出版を通じて住民や企業、行政との繋がりを果たしたいと語りました。また、紙媒体の強みを活かしつつも、参加型イベントの実施などによる「ハード」と「ソフト」両面の相乗効果で地域の活性化を図る事例が紹介されました。

現在、出版事業に加え、「広告事業」「拠点事業」などの事業展開をされていますが、出版のエピソードとして、余命

少ない高齢男性の出版に携わり、ご存命のうちに本の完成が間に合ったというお話があり、その時「やっぱり出版はやめてはいけない」という強い信念を表す言葉も印象的でした。

【フジコデザイン 杉並区(創業9年)】サトウ氏からは、

デザインは単なる宣伝媒体に留まらず、地域と関わることで、地域の課題解決や企業のブランディングに繋がると語り、企業や自治体との協働による新たな事業を創出する事例が紹介されました。

また、デザインの考案手法として、物事に対する考え方「マインドシップ」から、アイデアや情報を整理し「マインドマップ」を作成、さらにクライアントの企業色や時代背景、色(カラー)、文字(フォント)を絞り込んでいく過程が興味深く感じました。

さらに、自社の実力を把握することが大切で、「何が評価され」「何が評価されていない」のかを、お客様目線で客観的に理解する事をとても重要視されているのも印象的でした。

両者(社)協力のもと参加したコンペにおいて、武蔵野美術大学通信制で用いる刊行物の事業を2年間獲得した事例も紹介されました。お二人は、知り合ってまだ1年に満たないと思われませんが、その実行力、達成へのスピード感へも驚かされました。地域の企業が相互連携し、共創による新たな事業の立案や創出に繋がる可能性を学んだ、とても有意義なセミナーとなりました。



三多摩セミナー案内チラシ



開会のあいさつ
川井伸夫支部長



サトウ氏・小崎氏・川井支部長(左から)



セミナーへご参加の皆さん

「三多摩支部賛助会員」の方々です。

この広告の企業は、東京グラフィックサービス工業会 三多摩支部の賛助会員さんです。

今年度も様々な事業にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

私たちの仕事はマシンあっての、材料あっての、ソフト・IT インフラあっての事業です。

そして三多摩の印刷業界を盛り上げていくことは、印刷会社だけで成しえることではありません。

今後とも末永く歩みをひとつにして前進しましょう。



紙

のことならお任せください！

株式会社立川紙業



東京都立川市錦町4-5-26
TEL 042-527-6111
<https://www.kami.co.jp>

FUJIFILM
Value from Innovation

富士フイルム グラフィックソリューションズ 株式会社

代表取締役社長

山田 周一郎

本社 〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル 03(6419)0300

ホームページ <http://ffgs.fujifilm.co.jp>



リョービMHI
グラフィックテクノロジー株式会社

代表取締役社長

広川 勝士

〒726-0002 広島県府中市鷺飼町800-2
Tel. (0847)40-1600 Fax. (0847)40-1601
<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

Horizon

Change the focus

製本機のことなら
ホリゾンにおまかせください。

ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9
TEL. 03(3652)7631 (代) FAX. 03(3652)8083

担当: 古川優弥 E-mail: yuya.furukawa@horizon.co.jp

創業 100周年に向けて

SHOWA

取締役会長 幅 和弘

代表取締役 長場 敬太

時代に対応する、創造、販売、サービス

プリントメディアの総合商社



〒101-0065

東京都千代田区西神田2-7-8

TEL 03-3263-6141 (代) FAX 03-3263-6149

<https://www.showa-corp.jp>

印刷に関わる **いろいろなコト**

はモトヤ にご相談ください!!

新しい分野へ挑戦する経営者様を支援
各種補助金申請のお手伝い ※詳しくは

お客様と共に「環境」と「価値」を考える
※詳しくは **モトヤの資材ブランド ECO no MIST**

印刷・DTPに精通しているモトヤだからできる
ニーズに即応したプロの人材紹介 ※詳しくは

株式会社 モトヤ 東京 平104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711(代)
大阪 平530-0038 大阪 市北区紅梅町 2-8 ☎(06)6358-9131(代)
横浜・千葉・名古屋・京都・神戸・姫路・福岡

印刷業界のお客様をまるごと支援
一貫したサポート体制を整えています

株式会社 大塚商会
<https://www.otsuka-shokai.co.jp/>

営業本部 エリア部門 **POD推進部** pod-info@otsuka-shokai.co.jp

営業時間／9:00～17:30(土・日・祝日を除く)
東京本社 〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4
札幌・仙台・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡

FUJIFILM
Value from Innovation

Revoria™

Revoria™ (レヴォリア)は
富士フイルムビジネスイノベーションによる
プロダクション・プリンティング・ソリューションの
ブランドです。

富士フイルム ビジネス イノベーションジャパン株式会社
fujifilm.com/fb/company/fbj

FUJIFILM、およびFUJIFILMロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。Revoria、Revoriaロゴ、Revoria Press、Revoria Flow、およびRevoria Oneは富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

RICOH
imagine. change.

印刷事業者の“真”のパートナーとして、
前例にとらわれない新たな答えを創りだす
RICOH BUSINESS BOOSTER

リコージャパン株式会社 <https://www.ricoh.co.jp/>
〒105-8503 東京都港区芝 3-8-2 芝公園ファーストビル

KODAK

See the difference

最新のKODAK SONORA XTRAプロセスフリープレートは、従来のSONORA CX2と比べて視認性が2.5倍向上しています。また、有処理プレートからSONORA XTRAに切り替えることで廃棄物の削減、環境負荷の軽減にもつながります。生産性、耐刷性、耐傷性もさらに向上し、あらゆる印刷環境に対応可能な次世代プレートです。

その進化は止まらない。

編集後記

三多摩支部会員、賛助会員、関係各位の皆さま、日頃より、当支部の運営にご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。三多摩支部報146号が完成いたしました。

今号では、支部、本部の事業やトピックに加え、新入会員紹介、各種セミナー事業、コラムなどを盛り込みました、是非、ご一読ください。

さて、病氣療養中にありました佐藤昇さんがご逝去されました。毎年、忘年会シーズンになると、会員や賛助会員の皆さんに「熱気球のカレンダー」をプレゼント。旅行と熱気球がご趣味だったようで、日本各地は勿論、世界各国を巡っておられました。きっと空のお散歩を楽しんでらっしゃることと思います。

今後も皆さまに親しまれる誌面づくりに努めてまいります。

(広報担当)

訃報 支部会員 佐藤昇さんがご逝去されました 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

三英グラフィック・アーツ(株)の創業者で取締役会長の佐藤昇が、2026年2月3日、享年79歳で逝去いたしました。

三多摩支部の皆様におかれましては生前にひとかたならぬご厚誼にあずかり、故人に代わりまして厚く御礼申し上げます。

佐藤は前職を辞して、より創造的な仕事をしたいとの強い思いから1992年に組版、製版を主体とする三英グラフィック・アーツを創業いたしました。DTPの黎明の時期で、社員を採用するにあたって一芸に秀でた多様な人材を採用して、常に新しい方法論や独自の発想を求めて社員とも活発に意見交換し、時に激論を交わす場面も今振り返れば懐かしい思い出です。寡黙ながら社員に対しては常に気を配り、父親のように思いやりのある人物でありましたので、この度の逝去には社員一同惜別の念に堪えません。

これから佐藤の残したこの会社を守りさらに発展させていくべく社員一同決意を新たにいたしているところです。

三多摩支部の皆様におかれましては今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

三英グラフィック・アーツ株式会社 代表取締役 戸辺 博

